

出張報告

氏名	堀内 基広
所属教室・職（学年）	獣医衛生学教室・教授
派遣場所	モンゴル生命科学大学他（OH module Submodule 4）
派遣期間	令和6年6月2日～6月12日

【活動概要】

One Health Ally Course Submodule 4 OH onsite training “M404_Surveillance of foodborne diseases in Mongolia”実施のため、国際感染症学院所属博士課程学生2名、保健科学院所属博士課程学生（OH Ally Course 所属）1名、帯広畜産大学博士課程学生（OH Ally Course 所属）1名を引率してモンゴルに渡航した。モンゴル生命科学大学の共同研究者と実施している食品媒介感染症に関する調査研究の中で、生産動物（ウシ、ヒツジ、およびヤギ）における薬剤耐性菌、腸管出血性大腸菌、およびブルセラ属菌の調査を実施した。また、ホスタイ国立公園で、野生馬“Tahki”の保護の歴史を学んだ。さらに、国際協力、国際共同研究、異文化交流、異分野協働、の必要性について理解を深めるため、JICA モンゴル事務所、JICA 技術協力プロジェクト(公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト)、モンゴル生命科学大学獣医学研究所、国立感染症研究所を訪問し活動内容、日本との協働等について説明を受けた。

【参加学生】

JAYAWEERA MUHANDIRAMGE Sasini Jayaweera	国際感染症学院	博士課程3年
BULGAN Erdenebat	国際感染症学院	博士課程2年
LI Yonghan	保健科学院	博士課程3年
DO Thanh Thom	帯広畜産大学	博士課程4年

6月2日 千歳発、インチョン泊

6月3日 ウランバートル到着後、モンゴル生命科学大学（MULS）の JICA 技術協力プロジェクトに移動。MULS の獣医学部長表敬訪問後、JICA 技術協力プロジェクト(公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト)の高井チーフコーディネーターから技術協力プロジェクトの説明を受けた。その後、MUSL 獣医学部の衛生学研究室で、6月4日以降の採材準備。

6月4日 朝6時にホテルを出発し、ウランバートルから90kmの北東部にある2箇所のヒツジ/ヤギの遊牧場にて、各箇所ヒツジ、ヤギの直腸スワブ各々10検体を採取。抗生物質等の使用歴の聞き取りを実施。MUSL 獣医学部に戻り、腸管出血性大腸菌と薬剤耐性大腸菌の分離を開始。乳からの DNA 抽出とミルクリングテストを実施。

6月5日 朝5時にホテルを出発し、ウランバートルから30kmの西部にある2箇所の酪農場にて、各箇所ウシの直腸スワブ各々10検体を採取。抗生物質等の使用歴の聞き取りを実施。MUSL 獣医学部に戻り、腸管出血性大腸菌と薬剤耐性大腸菌の分離を開始。乳からの DNA 抽出とミルクリングテストを実施。

6月6日 午前10時に、JICA モンゴル事務所を訪問し、中村圭吾様から、JICA モンゴル事務所が担当している案件の説明を受けた。大学に戻り、腸管出血性大腸菌と薬剤耐性大腸菌の分離を進めた。午後3:30にFAO モンゴル事務所を訪問し、ENKHTUR 博士と Enkhtuya 博士から、Action to support

implementation of Codex AMR Texts (ACT) の説明を受けた。

6月7日 腸管出血性大腸菌と薬剤耐性大腸菌の分離を継続。乳から抽出した DNA を用いてブルセラ属菌を検出する定量 PCR を実施。午後 1 時からモンゴル国立感染症研究所を訪問し、Baigalmaa 所長から業務研究内容の説明を受けた。細菌研究部門の施設額および食品媒介感染症に関する共同研究の打ち合わせを実施。

6月8日 ホスタイ国立公園で、一度モンゴルで絶滅した野生馬“Takhi”の再導入と保護の歴史を学習。加えて園内で野生動物を観察。

6月9日 ダンバダルジャー日本人抑留中死亡者慰霊碑訪問。夜は Nyam-osor 先生の手招きで、モンゴルの伝統音楽・舞踊を鑑賞

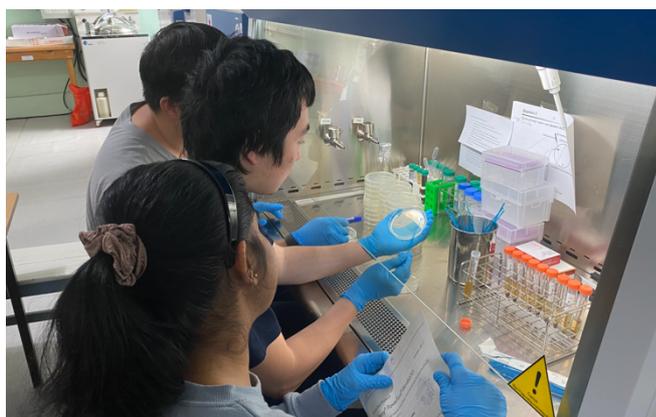
6月10日 午前中、MULS 獣医学研究所を訪問し、20 年以上に渡る日本との共同研究、SATREPS プロジェクトの説明を受けた。腸管出血性大腸菌と薬剤耐性大腸菌の分離を継続し、定量 PCR による stx1/stx2 遺伝子の検出を実施

6月11日 ウランバートルからインチョンへ移動。インチョン泊

6月12日 インチョン発、千歳着。



(↑) ヒツジ/ヤギの放牧とヒツジの直腸スワブのサンプリング



(↑) 実験室での菌分離



(↑) 酪農場でのサンプリング



(↑) 実験室での菌分離・判定



(↑) FAO モンゴル事務所



(↑) JICA モンゴル事務所



(↑) モンゴル国立感染症研究所



(↑) ホスタイ国立公園 Takhi 保護の歴史の説明とタルバガンの巣穴の説明





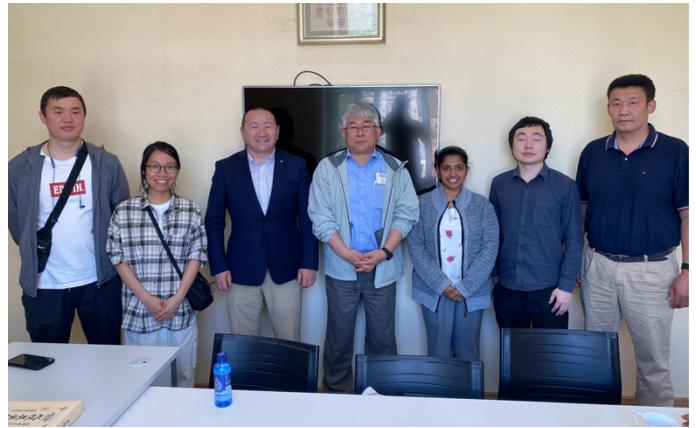
(↑) MULS 獣医学部衛生学教室の方々



(↑) 謝意



(↑) 民族衣装



(↑) 学部長表敬訪問